

科目	生涯スポーツ論	担当	横井 康博	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

今日スポーツは国際政治や経済の動向にも大きなインパクトを与え、さらに新しい文化を創造する動因力ともなっている。それだけに現代社会におけるスポーツを的確に分析し、新しい世紀に向けてのスポーツ変革を考えていく必要がある。

そこで本講義では、我が国のすべての国民が生涯を通じてスポーツを楽しむことができるよう、どのように再編成・再構築・創造していくかを考える。

【履修注意】

一方通行にならないように質疑応答の機会を増やすため、積極的参加を希望する。
基本的には、全出席。スポーツマネジメントコース希望者は、必修。

【評価方法】

テスト50%、中間チェック・ミニレポート点30%、出席点・授業態度20%で評価する。

【試験について】

期末に筆記試験を行う。

再試験対象者の条件： 出席要件を満たした者。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

講義中に必要に応じてプリント配布。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	生涯スポーツの現在・未来Ⅰ	生涯スポーツの概念
2	生涯スポーツの現在・未来Ⅱ	生涯スポーツの未来像
3	日本人のスポーツ参加動向	現代社会におけるスポーツ人口
4	青少年のスポーツ活動	少子化問題との関連性
5	スポーツクラブの現状	生涯スポーツにおける必要性
6	スポーツ指導者と資格制度	日本におけるスポーツ指導者の現状把握
7	スポーツボランティア	生涯スポーツ実現への不可欠要素
8	スポーツイベントと振興プログラム	スポーツ振興の現状
9	前半のまとめ	中間チェック
10	地域スポーツを考える	総合型地域スポーツクラブ理解
11	スポーツクラブの運営方法	総合型地域スポーツクラブの運営方法
12	スポーツクラブの事例に学ぶ	全国の総合型地域スポーツクラブの現状
13	スポーツクラブの必要性	総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的役割
14	海外スポーツクラブの事情	海外のスポーツクラブ紹介
15	まとめ	生涯スポーツに関する研究テーマについて
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ